

発 行
令和7年
2月5日
第89号



発 行 者
長野県下伊那農業高等学校
同 窓 会
TEL(22)5550
FAX(53)0339
編集・発行
同 窓 会 幹 事 会
印刷 龍共印刷株式会社

環境変化への順応を

同窓会長 森 山 和 幸 (高18回卒)



会員の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。コロナ禍も明け、漸く以前のような活動のできる環境になった令和六年度は、本会主催の親善ゴルフ大会、稲穂会マレットゴルフ大会も盛会に開催でき各支会での活動も復活してきました。その中、母校において少子化による生徒数の減少などから、この四月の新入生からは従来の四学科八コースから三学科六コースと学科再編が行われることになりました。

農業のグローバル化、また農業技術の高度化に伴うスマート農業の進展など大きな環境変化に対応できる人材の育成が求められる中での対応とのことです。母校が他の高校にはない独自の教育活動の一環として、地域企業と連携した特産品を活用した商品開発や創造性に富んだサービスの開発等が報道される機会が増加しており、今回の学科再編により一層地域との結びつきが深い学校になることを期待するところですので。

南信州地域は三遠南信道やりニア中央新幹線の開通によりこれから大きな変化、発展が期待できる地域です。本校卒業生が、地域の未来をつくる人材として育つよう同窓生として支援し、一緒に活動できれば素晴らしいことだと考えております。同窓生は会員の価値観の多様化、会員

数の減少、会の財政など課題は多くありますが、新しい時代にふさわしい同窓会の在り方を

新たな時代に向けて

学校長 垂 澤 和 憲



同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。本校には新渡戸稲造先生の「Boys be ambitious」の書が圃場に面した道路の石碑と校長室に掲げられています。同窓生の方との話の中で、「高校生の時には登校時に石碑を眺めながら、気持ちを引き締めて毎日登校した」というお話を伺い、歴史ある高校であることと石碑に込められた諸先輩方の後輩生

を模索していますので引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。

術や知識を取り入れ、バージョンアップを図ります。少子化が進む中、地域の皆様の本校に対する期待は大きいものと感じております。飯田・下伊那地域には、伝統野菜や文化、様々な工芸品や技術など、豊富な地域資源があります。連携や協力をいたたく中で、これらを活用した探究的な学びを確立しつつ、それら活動を通して、より一層、郷土愛を深められる学校になるようにしていきたいと考えています。

同窓会の皆様には、今後ともかわらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



稲穂会マレットゴルフ大会

稲穂会会長 矢澤とみ子（高23回卒）

第十八回マレットゴルフ大会が、六月二十九日アカシアマレットゴルフ場にて三十三人の参加をいただき開催されました。開会式には、昨年度優勝者よりトロフィーの



返還、競技説明、昨年の優勝・準優勝の方にはハンデを付けさせていただく事、水分補給をしてケガの無いようにとお願いをし、プレーの開始です。前日の雨もすっかり上がり、久しぶりに会う同級生同窓生と和気あいあいの二時間でした。閉会式には森山同窓会長に出席いただいて表彰式が行われました。その後、お弁当、加工品、キウウリをいただき、笑顔の散会となりました。

同窓会親善ゴルフ大会

事務局長 小林 興宣（高29回卒）

令和六年六月二十五日に飯田カントリー倶楽部において第三十二回下伊那農業高等学校同窓会親善ゴルフ大会が開催されました。今回は百六十二名の卒業生が一堂に集まり盛大に仲間と一喜一憂の一打に大笑いあり、真剣



モードありの楽しいゴルフで一日を過ごすこ

令和六年度の支会総会開催状況

生田支会

代表 北林 昌幸
（高14回卒）



生田支会総会が令和六年二月二十七日に開催され十七名の同窓生が集まることができました。

楽つゝ集まるんぞ

同窓生

関東稲丘会（東京支会）

会長 福澤 省三
（高21回卒）

昨年十月に久しぶりの「関東稲丘会総会（東京支会）」を開催いたしました。森山和幸同窓会会長、大島誠副会長、田畑邦仁元学校長の各氏にご来賓としてご列席いただきまして開催することができました。

「第一部」総会「第二部」橘家竹藏師匠の

とができました。毎年高年齢化していく同窓会ゴルフ、参加者も減少傾向となり地区担当役員が参加者を募る現状の方法ではさらに参加者が減少することが予想されています。若い下伊那農業卒業生もゴルフを楽しんでいる同窓生も多くいると思います。参加者募集方法も一考する時期にあ

るのではないかと考えます。これからも楽しい同窓会ゴルフが多く同窓生の参加のもと末永く続けることができましようにお願いいたします。今年度も質実剛健な下伊那農業高校同窓生の親睦ゴルフで楽しませていただきありがとうございます。

古典落語「第三部」懇親会で出席者がそれぞれ自己紹介など。その後ゲームで景品獲得。校歌斉唱、万歳三唱で閉会となりました。

支会の活動として「春秋のゴルフ会」長野県高校同窓連・南信同窓連の「総会」「新・忘年会」「旅行会」「ゴルフ会」などの活動に参加しております。北信・東信・中信・南信各高同窓生は「信濃の国」の合唱で連帯感を感じます。役員活動を通じて我が下伊那農業高校の名を全県同窓連に周知させていると自負しております。

昭和二十八年に稲丘会東京支会を開設。当時は覚悟を持って関東の地で生活を築いてきた稲丘健児・女子が同窓会で集う繋がりで、都会でも諸先輩や同級生たちが居る安心感、心強さを感じていた方も居ただろうと思います。私も身近の先輩たちと接する事が出来たことが、どれほど人

生に影響を受けたか計り知れません。里帰りに八時間ほど掛かっていた頃は故郷とは遠く懐かしい所と思いましたが、高速道路が出来、将来にはリニアで三十分（発着駅まで五十分余り？）の時代で、故郷が懐かしさよりビジネス生活圏内となり、益々故郷を想うことなどが希薄となり、同窓会活動などは現在でも高齢化・個人情報などの理由はあるにしろ、益々衰退して行ってしまうでしょう。しかし母校を、また同窓生を盛り上げるために、せめて現在では出来る限り継続させていくために『取りあえず集まることが大切』と、一人でも多く集ってくれろことを切に願います。



地元で活躍する先輩方 2024年度農林水産祭

株式会社なかひら農場

代表取締役社長 中平義則（高46回卒）



この度、第六十三回農林水産祭におきまして、権威と伝統ある天皇杯の受賞の栄誉を賜りましたことは、身に余る光栄に存じます。

これもひとえに家族、従業員、地元農業者仲間をはじめ、関連企業様、関係機関の皆様、御支援、御指導の陰であり、心より感謝申し上げます。

また、今日まで幾多の困難を乗り越えてきた先人達へ、感謝の念に堪えません。私の住む長野県松川町の増野地区は、戦後開拓で山林を切り開いて農業を始め、中山間地域で、さらに水が無い土地柄の為、果樹栽培を続けて

きた農業地域です。

弊社は昭和五十年の観光農業の開始とともにりんごのジュース加工に取り組んできました。

一九九一年の法人化を機に、加工場の年間稼働を目指し一年を通じて、地域、長野県、全国の果実、野菜をジュース加工してきました。

生産量は年間百六十万個、四十種類以上の果実、野菜ジュースを生産して全国、海外の消費者様から高い評価を得ています。

また、百年後もこの地域の果樹産業を守りたいとの思いから、「人を育てる」「品種を育てる」「技術を育てる」の三本の柱を目標として、農地の集約化や「松川果樹研修制度」、りんごの新品種開発、温暖化に対応した農業資



材、技術の開発を進めてきました。これらを通じてこれからも地域と共に発展する6次化



経営を目指していききたいと思っています。

最後に、今後も今回の受賞を励みに地域で支え合い、地域農業者とともに、持続可能な農業の振興へいかに私自身が関与できるかということを常に考え、創意工夫を重ねることで地域農業の発展に寄与し続けたいと思います。

令和六年度
下伊那農業高校
同窓会理事・
代議員会

去る五月二十五日

（土）暑い中、令和六年度同窓会理事・代議員会が行われました。

令和五年度事業報告・会計報告・監査、令和六年度事業計画・予算案・令和五年度卒業新理事・新代議員・次年度より同窓会長、副会長の再任について審議され承認を受けることができました。その後、場所を同窓会館に変え、親睦会を行うことができました。五年度卒業生理事として渡邊志織（高76）さん・代議員として小田美来（高76）さんが新しい役員となるのでよろしくをお願いします。



会務報告

同窓会幹事長 松澤 公夫（高36回卒）



会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

校内幹事長を担当させて頂いていた三十三年卒業の松澤と申します。日頃より、会員の皆様方には同窓会活動にご支援・ご協力を賜っておりまして感謝申し上げます。

五月二十五日に令和六年度同窓会理事・代議員会を開催いたしました。理事・代議員会では、令和五年度事業・決算報告、令和六年度事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。総会終了後、稲丘会館で懇親会を昨年に引き続き行い親睦を深めることができました。

また、親善ゴルフ大会及び稲穂会マレットゴルフ大会も盛大にできました。

令和5年度 決 算 書

長野県下伊那農業高等学校同窓会
令和6年5月25日 提 案
令和6年5月25日 承 認

1 歳入総額	2,739,865円
2 歳出総額	1,903,006円
3 差引残額	836,859円

1 歳入の部

(単位:円)

科 目	当初予算	収入済額	比較増減	備 考
入 会 金	1,280,000	1,280,000	0	8,000×160名
雑 収 入	0	5,072	5,072	利息、支会より 等
繰 越 金	1,178,793	1,178,793	0	
永 年 会 費	276,000	276,000	0	2,000円×138名
そ の 他	0	0	0	
合 計	2,734,793	2,739,865	5,072	

2 歳出の部

(単位:円)

科 目	当初予算	支出済額	比較増減	備 考
1. 事務費	525,000	352,532	172,468	
1) 旅費	130,000	27,990	102,010	支会総会等の旅費
2) 事務費	100,000	102,777	-2,777	プリンター・インク・ロール紙他事務費
3) 通信費	60,000	62,200	-2,200	郵送料・電話代
4) 消耗品費	75,000	59,565	15,435	印刷用紙他
5) 負担金	10,000	0	10,000	地区同窓会負担金
6) 交際費	150,000	100,000	50,000	各種会議参加費等
2. 会議費	410,000	187,474	222,526	
1) 役員会費	100,000	25,000	75,000	監査会等
2) 代議員会費	210,000	124,164	85,836	代議員会
3) 幹事会費	100,000	38,310	61,690	校内幹事会会議費
3. 事業費	1,510,000	1,250,229	259,771	
1) 稲穂会費	220,000	177,613	42,387	活動費・総会費
2) 事業推進費	250,000	100,250	149,750	支会総会の参加
3) 稲丘時報発行費	300,000	234,300	65,700	稲丘時報発行費
4) 同窓会林管理費	40,000	38,499	1,501	同窓会林間伐等管理
5) 新生会員歓迎費	150,000	150,000	0	校歌等CD購入用積立て
6) 稲丘会事業寄付金	200,000	200,000	0	(財) 稲丘会
7) 親善大会費	200,000	149,567	50,433	親善ゴルフ
8) 会員減少積立金	150,000	200,000	▲ 50,000	会員減少積立金として定期預金
4. 雑支出	210,000	30,000	180,000	
1) 慶弔費	70,000	0	70,000	祝儀・香典・弔電
2) 転退職職員記念品費	80,000	30,000	50,000	餞別
3) 雑費	60,000	0	60,000	1-2)長尺インク他、2-1)役員会
5. 予備費	79,793	82,771	▲2,978	1-2事務 通信費
1) 予備費	79,793	82,771	▲2,978	
合 計	2,734,793	1,903,006	831,787	

以下の通りです
生田支会二月二十七日
川路支会三月二十四日
山本支会六月九日
神稲支会七月十三日
上郷支会七月十五日
龍江支会八月二十九日
関東支会十月四日
喬木支会十一月二十六日
実施した支会におかれましては事務局まで

報告をお願いいたします。

支会総会は会員相互の親睦を深められる良い機会です。多くの会員の出席をお願いいたします。

会員の皆様方には健康に気を付けてご活躍されることを祈念申し上げます。今後とも母

校の発展のために、より一層のご理解・ご協力をお願いします。

令和6年度 会員の異動

同窓会員		令和六年三月卒業により正会員になった人	
旧制	新制	旧制	新制
内 男子	内 女子	内 男子	内 女子
一七、	一五、	一七、	一五、
二、	一、	二、	一、
四八、	四一、	四八、	四一、
九名	八名	九名	八名
一、	一、	一、	一、
五、	四、	五、	四、
六九、	六四、	六九、	六四、
四名	三名	四名	三名

今、下農は...

令和6年（2024年）
長野県下伊那農業高等学校
<http://www.nagano-c.ed.jp/simonou/>



班（クラブ）の活躍

<運動班>

(1) 長野県高等学校総合体育大会（令和6年度）
団体戦（県大会以上に出場した競技のみ掲載）

競技・団体名等	南信大会結果	県大会結果
弓道（男子）	2位	3位 北信越大会 県代表

(2) 第105回全国高等学校野球選手権長野大会（令和5年度）
ベスト16
第151回(令和6年度秋季)北信越地区高等学校野球長野県大会
南信予選会2次戦 ベスト8（代表決定選へ）



祝 弓道班
第54回北信越高等学校弓道大会
男子団体 第3位

<学芸班・専門研究班・農業クラブ等>

○農業クラブ

プロジェクト発表（R6年度）7月13日県大会

班名	分野	発表テーマ	県大会
アグリ食化有志	I類 農業生産 農業経営	下伊那地域に「カッキ」を！ ～市田柿の持続可能栽培をめざして～ 熊谷（3A竜峡） 池田（3A旭ヶ丘） 西野（3A旭ヶ丘） 林（3A松川） 熊谷（3D高陵） 代田（3D緑ヶ丘） 清信（3D飯田東）	優秀賞
農業クラブ	II類 国土保全 環境創造	おこせBamboo革命！ ～コロナ禍での発見を地域の魅力へ～ 松村（3C鼎） 林（3C緑ヶ丘） 小室（3D竜峡）	入賞
食品科学	III類 資源活用 地域振興	Tea Timeをプロデュース ～お茶で下伊那の魅力を発信～ 松澤（3D旭ヶ丘） 金田（3D緑ヶ丘） 山田（3D飯田西） 齋藤（2A高森） 齋藤（2D阿智） 篠元（2D大鹿）	最優秀賞 北信越大会 県代表

意見発表（R6年度）7月13日県大会

氏名(学年・出身中学校)	分野	発表テーマ	県大会
小林（2D下條）	農業生産・農業経営	昆虫食のススメ	入賞
鈴木（3A旭ヶ丘）	国土保全・環境創造	南信州から紡ぐ、竹取再生物語	入賞
北原（3A鼎）	資源活用・地域振興	いただいた「いのち」にできること	最優秀賞 北信越大会県代表

クラブ活動発表会（R6年度）7月13日県大会 最優秀賞

発表題目	氏名（学年・出身中学）
伝統野菜をいつまでも ～地域の魅力を皆さまへ～	村松（3A高陵） 中島（3A旭ヶ丘） 黒河内（3D・高陵）

○各種大会等

（R6年度）

氏名（学年・出身中学校）	成績	大会名
牧内（3C喬木）	出場	関東甲信越静地区国際教育研究協議会主催 第44回高校生英語弁論大会



令和6年度3学年 進路希望状況（令和7年3月卒業）

卒業予定数 男子 70人 女子 72人 合計 142人					合計	アグリ サービス	農業 機械	園芸 クリエイト	食品 化学		
				人数	比率	男	70	8	35	12	15
						女	72	30	0	20	22
						計	142	38	35	32	37
就職希望 男子 32人 女子 17人 小計 49人 比率 34.5%	管内	46	32.4%	男	30	2	16	7	5		
				女	16	6	0	5	5		
	県内	0	0.0%	男	0	0	0	0	0		
				女	0	0	0	0	0		
	県外	2	1.4%	男	1	0	1	0	0		
				女	1	1	0	0	0		
	公務員	1	0.7%	男	1	1	0	0	0		
				女	0	0	0	0	0		
	自営	0	0.0%	男	0	0	0	0	0		
				女	0	0	0	0	0		
進学希望 男子 37人 女子 54人 小計 91人 比率 64.1%	大学	16	11.3%	男	7	1	4	1	1		
				女	9	3	0	3	3		
	短大	22	15.5%	男	4	1	1	2	0		
				女	18	12	0	2	4		
	県農 大等	3	2.1%	男	2	0	1	1	0		
				女	1	0	0	1	0		
	専修 各種	50	35.2%	男	24	3	12	1	8		
				女	26	8	0	9	9		
未定 比率 1.4%	未定	2	1.4%	男	1	0	0	0	1		
				女	1	0	0	0	1		

進路状況

令和六年度（令和七年三月卒業予定）

進路状況について

進路指導部 北原 広章

今年度も一四二名の生徒を卒業させることになりました。

生徒が自ら選び保護者のご協力のもとに、進路を決めることができました。進学・就職ともに第一希望を叶えた生徒が多く高校生活で大きく成長し、自ら

進路を決めることができた。進学・就職

ともに第一希望を叶えた生徒が多く高校生活

で大きく成長し、自ら

進路を決めることができた。進学・就職

ともに第一希望を叶えた生徒が多く高校生活

で大きく成長し、自ら

多種多様な入試形態がありこの時点で多くの生徒が受験しています。短大は昨年並みという傾向がありますが著しく変化があったのは専門学校より大学へと変わった点です。専門学校等でも飯田下伊那の学校に進学する生徒が複数います。県内外に関わらず多くの生徒が本校での学習を活かした進学を選択して

個人情報の変更についてのお願い

います。他方で新たな世界での学問に進む生徒もおり、彼らの成長を願わずにはられません。

諸事情（改姓・転居など）による個人情報の変更がありましたら、正確を期するため、下記の連絡内容をご記入いただき、①FAX②

③メール

simono02@nagano-c.ed.jp

①FAX

②郵便

③メール

①FAX

②郵便

③メール

simono02@nagano-c.ed.jp

①FAX

②郵便

③メール

simono02@nagano-c.ed.jp

①FAX

②郵便

③メール

simono02@nagano-c.ed.jp

①FAX

②郵便

③メール

simono02@nagano-c.ed.jp

①FAX

②郵便

③メール

simono02@nagano-c.ed.jp

①FAX

②郵便

③メール

simono02@nagano-c.ed.jp

①FAX

②郵便

③メール

simono02@nagano-c.ed.jp

〈連絡内容〉

①連絡者の氏名、卒業年（大正・昭和・平成・令和）、クラス

②新姓、在学時姓名、郵便番号、現住所、電話番号

③物故者の新姓、在学時の姓名、物故者の卒業年（不明な場合は住所・生年月日など）

④逝去年月日

※連絡内容に不備がある場合は生存者のままとさせていただきます。

お詫びと訂正

八十八号の支会活動の千代支会長ですがお名前の間違ひがありました。竹下真ではなく竹下貢氏です。改めて訂正とお詫び申し上げます。

編集後記

八十九号編集にご協力いただきました皆様にはとても感謝しております。